



エコまる

サポーターズ・ニュース

No. 8

サポーターの皆さん、こんにちは。7月27日(土)・28日(日)、新潟・群馬こどもエコクラブ交流サマーキャンプが開催されました。群馬県からは5クラブ(会員26名・サポーター10名)が参加し、大自然の中での体験活動とおして、新潟県のクラブと楽しく交流を図りました。

第6回 新潟・群馬こどもエコクラブ交流サマーキャンプ 新潟県 入広瀬村 浅草山麓エコミュージアム



名札は自作です

エコミュージアム内部



エコミュージアムのレンジャーです。自然観察やネイチャーゲームなど、“自然”のことは何でもおまかせ!



ウェルカムパーティー



エコミュージアム内部は入広瀬村の大自然がそのまま再現されています。動物のすみかや植物の標本など、身近で観察することができます。書籍もたくさんそろっていて、ちょっとした疑問なら、すぐに解決!



今年もやりました。棒まきパン! やっぱり、かたかった…?



スライドショー



自然観察



ネイチャーゲーム

選択ワークショップ



フライフィッシング



溪流トレッキング



自然素材工作

フライフィッシングではねらった所に毛ばりを落とすのに一苦労。でも3匹も釣った子も。溪流トレッキングは川の中で転んだり泳いだり…水が冷たくて気持ちよかった。自然素材工作は時間の経つのも忘れて熱中! 木の枝で笛や昆虫を作りました。

まだつづきます(裏へ)



閉会式では両県の代表者により環境宣言が読み上げられました

入広瀬こども環境宣言

群馬・新潟こどもエコクラブ交流サマーキャンプに集まった私たちは、ここ入広瀬の雄大で美しい自然にふれ、たくさんの仲間を得ることができました。この2日間の自然とのふれあいを通じて、自然と環境の関わりについて、あらためて考えることができました。これから私たちは、自然に素直に向き合い、自然に学び、考え、一人ひとりにできることに進んで取り組みます。私たち群馬、新潟2県の仲間たちは、みんなで力を合わせて自然や環境を守っていきます。そして、美しい地球と共に生きていくことを約束します。

平成14年7月28日



記念写真



今年は、元総社エコクラブわんぱく探検隊、玉村こどもエコクラブ、いしくろエコクラブ、水芭蕉、ヤマメクラブの5クラブから参加がありました。来年は群馬県が会場になります。多くのクラブに参加していただけるように、楽しい企画を考えていきたいと思います。「〇〇〇を会場にしてこんな活動をするといいよ」など、会場選定などで参考になる情報がありましたらお寄せください。お待ちしております！



田んぼにはどんな生きものがいるか調べてみよう！そして、これからのよりよい環境について考えていこう！という取り組みが昨年からはじまっています。それが「田んぼの生きもの調査」です。この調査は農林水産省と環境省が協力して進めています。ちなみに昨年は全国211地区、1098地点で行われました。（農林水産省のちらしより）

田んぼの生きもの調査は、特別な知識や道具がなくてもだれでも参加できます。夏休みはまだ3分の2が残っています。こどもエコクラブの夏の活動の目玉として取り入れてみてはいかがでしょうか？ちなみに今年度はカエルと魚の調査が中心だそうです。進め方は以下のとおり。

1 農村環境整備センターに連絡

調査マニュアルが全員にもらえます。
連絡は FAX か Mail で。
FAX:03-5645-3675 Mail:tanbo@acres.jp

2 調査活動

マニュアルを見て事故やケガのないように。
農家の方への調査の協力依頼を忘れずに。

3 データをまとめて提出

様式等は調査マニュアルの中にあります



データを提出すると、調査結果表とコメント、それに「田んぼの生きもの調査オリジナルワッペン」が送られてきます。夏休みの自由研究としてもGOODです！



★編集後記★

毎朝、駅まで15分。歩くだけで汗びっしょり。まだまだ「猛暑」「酷暑」は続きそうです。夏は暑ければ暑いほど生きている実感がある！と強がってはみるものの、夜中、窓からの風もなまぬるい…。エアコンのスイッチを押すか我慢か…。今日もまた、眠れぬうちに朝が来ます。（川上）

〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

Tel.027-226-2817 Fax027-243-7702

群馬県環境政策課内 こどもエコクラブ群馬県事務局

E-mail kawakami-t@pref.gunma.jp

URL www.pref.gunma.jp/d/01/eco/index.htm